

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

武雄市立若木小学校（佐賀県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 振り返りシートによる学習の進捗の確認や学習ログの蓄積

Google スプレッドシートを用いて、各教科において振り返りシートを作成し、活用を進めた。右は2年生での例である。

行方向に各児童の入力セルを準備する。列方向には、自己評価、本時の振り返りの記入欄を設けた。

自己評価は、5段階で設定し、顔のアイコンで表示するようにしている。学習の理解や定着、困り具合から最も合致するものを表示させることで、指導者にとって児童理解の一助になった。個別の課題把握が容易になることで、適切な個別指導ができるようになり、次時の学習に生かすことができる。

また、1時間分の振り返りを学級全員で共有できるので、他者の振り返りを参照することで、自分にはない気づきに触れ、学習意欲の向上にもつながった。

振り返りシートは、「学びのロードマップ」にリンクを設定することで、アクセスを容易にするだけでなく、学習内容を想起しながら記入ができるように配慮した。

▼ 😊	▼	ことごとぐるまをレベルアップするために、でんちをやクルトのしたのぶぶんをつかってみた。しかくだったでんちが丸くなった。次回は、この電池にあう容器を探して、動かかめしたい。
▼ 😊	▼	トコトコ車をレベルアップするために、電池を変えてみた。そうしたら回ったから次は、前に進むようにしたいです。
▼		
▼ 😊	▼	びよんコップをレベルアップするために輪ゴムを太くしたり切り方をええたら高く飛んだから次は80センチをこえたい。
▼ 😊 😊 😊	▼	パッチン ジャンプをレベルアップさせるためにゴムの引っかけ方 と・細さをええたらうまくいかなかったから、次は、いろいろかえて、うごくようにしたい。
▼ 😊	▼	コロコロコロンの電池がうまくころがるように、電池をトイレトペーパーでまいてみたら丸になった。次回はトイレトペーパーのしんにがようしをはってうごかしてみたいです。
▼ 😊 😊	▼	ヨットカーをレベルアップするために、風をうけるところをかえてみた。そうしたら、長くうごいた。次は、もっと長く動けるようにしたい。
▼ 😊 😊	▼	パッチンジャンプをレベルアップするために、切込みを小さくした。そしたら少しとんだ。次は、牛乳パックの太さをかえてみたい。
▼		
▼ 😊	▼	でんちをビー玉にかえてみたけどころがらなかった。つぎはビー玉をふやしてみる。

スプレッドシートを活用した振り返り



「学びのロードマップ」（2年生活科）

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

武雄市立若木小学校（佐賀県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 児童の学習状況の把握と支援について

児童の学習状況の把握は、主にワークシートや振り返りシートのファイルの共有によって行った。

例は、小学4年生国語科の「書くこと」の単元である。共同編集機能を活用し、児童の考えを記した各シートを共有することで、指導者が児童の学習状況を把握することができる。また、メモに書くことができなかったり、言葉でまとめられなかったりなどの児童の把握ができることで、適切な支援にもつながる。具体的には、他の児童のシートを参考にするよう声をかけたり、児童がイラストで表現したことを指導者が言語化したりするなどを行っている。

国語科以外でも、社会科や体育科など様々な教科において、Google スプレッドシートでの振り返りを行った。特に社会科では、単元を通した学習問題とそれに沿っためあてをたてさせ、常時めあてを意識した学習を行うことにつながった。



ファイルの共有による学習状況の把握

テーマ 嬉野温泉（シーボルトの湯）			
学習問題	その地域の人はどんな思いで嬉野温泉を残してきたのだろう。		
	めあて	ふりかえり（わかったこと、次のかだい、もっと知りたい、友だち）	評価
学習問題作り	学習問題を自分一人で考える。	学習問題がたてれた	A
調べる①	嬉野温泉について調べ、わかりやすくまとめよう。	今回は嬉野温泉の由来について調べられて目次をちょっとと、由来について少し書けた。	A
	質問することを考えよう。		

児童自身の学びの振り返りと自己評価の見取り

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

武雄市立若木小学校（佐賀県）【指定校】

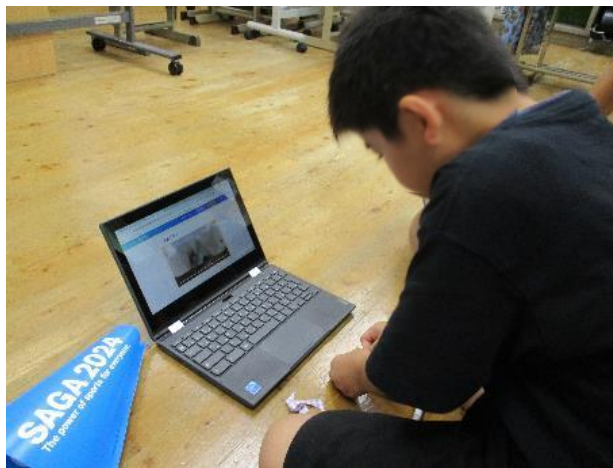
【GIGA×指導の工夫・改善】 特別支援学級における制作活動での端末を活用した指導の工夫について

右は、特別支援学級における自立活動での端末、クラウド活用の具体例である。制作を伴う活動時には、手順や制作上の留意点を動画として児童に提供した。これによって、児童は自分に興味・関心のあるものを選んで活動に取り組むことができる。また、何度も作り方を見ながら学習を進める点でもよい手段となった。

授業実践後の学習アンケートでは、「授業では、自分で決めたり、選んだりして学習を進めることができますか。」に対して、在籍5人全員が肯定的に答えていて、個別最適な学びが児童にも浸透してきていると考える。

また、学習の振り返り場面では、文字の入力以外にも行えるように指導を行った。例えば、学習の振り返りを動画にして撮影後に、クラウド上に保存をすることで、動画で残す方法も取り入れたことで、文字を書くことが億劫となる児童にも有用であった。振り返りの質も高まった児童もいた。

これらの動画教材や撮影データの提出場所は、「学びのロードマップ」上にもリンク先を準備することで、児童が容易にアクセスできるようにした。これにより、指導者の指示が最小限に抑えられ、活動の時間を十分に確保することにつながった。



作り方動画を見ながら自分で作り進める様子



動画でのふりかえりの記録



学びのロードマップ